

The Magic of ROTARY  
ロータリーのマジック

2024～25 年度年度  
国際ロータリー会長 Steohanie Urchick



## 東京麹町ロータリークラブ

本日の例会プログラム  
第 27 回例会 2025.4.14 (#2442) 舞の間  
例会ホスト・紹介係 浅野会員  
受付係 保科会員 杉山会員  
司会者 山内会員 ソングリーダー 木寅会員

卓話 「ゲーム開発について～  
経営者兼ゲームデザイナーの 20 年間で振り返って～」

(株)ドラガミゲームス代表取締役社長 安田 善巳氏  
紹介者 須藤会員

前回の報告  
第 26 回例会 2025.4.7 (#2441) 舞の間  
例会ホスト・紹介係 会員  
受付係 濱田会員 園田会員  
司会者 山内会員 ソングリーダー 地引会員

卓話 「時代の転換点におけるサステナビリティ」

Think CoffeeJapan CEO 代表取締役社長田瀬 和夫氏  
紹介者 荒川会員

## 今期のモットー：「親睦を通じて奉仕を実践する」

### 会長報告

- 1) ひさしぶりのオータニでの例会です。本日は、田瀬様に世界的に注目されているサステナビリティについておはなしを伺います
- 2) 本日はお二人の新しいお仲間を紹介させていただきます。  
荒川会員推薦の青山圭介氏、荒井会員推薦の水野友喜氏です。  
今後とも宜しく御願ひ致します。
- 3) 青少年交換学生の高瀬咲妃さんが出席です。
- 4) 2月末から続いた大船渡市の山林火災の義援金をよろしくお願い致します。
- 5) 3月24日の観桜会にはさくらはまだまだでしたが、どんどん開花咲き進んでお花見日和が続いております。お集まり頂きありがとうございました。



(左から水野会員・青山会員)

### 幹事報告

- 1) 観桜会には多くの皆様にお越し頂きました、有難うございました。
- 2) 明後日9日には福島南RCの観桜会が御座います。出席されるかたにはよろしくお願い致します。
- 3) そろそろ来期に向けての会合が開催されます。9日には地区研修協議会があります、該当の方はお願いいたします。
- 4) 例会終了後に定例会理事会が御座います。該当のかたはお残り下さい。

### 例会記録

会員総数 60名 出席会員数 27名  
ゲスト 2名 ビジター 0名  
その他 1名 海外ビジター 0名  
事務局 2名

### ニコニコボックス

荒川会員：誕生日・田瀬様卓話を宜しくお願いします。  
若林会員：誕生日・先日エバンストンでコーディネーターの研修を受けてきました。  
保科会員：結婚記念・名刺をありがとう  
誕生日祝い：末竹会員(20日)吉田会員(21日)濱田会員(20日)

### 次回予告

第28回例会 2025, 5, 12 (#2443)  
会場：舞の間  
例会ホスト・紹介係 乳井会員  
受付係 植芝(充)会員 加賀会員  
司会者 山田会員  
ソングリーダー 杉山会員

### 卓話「漆」

目白漆芸文化財研究所 代表取締役  
室瀬 智弥氏  
紹介者 若林会員



## お米と馬の話題 あれこれ

日本中央競馬会副理事長 山口 英彰氏(3/3 卓話 荒川会員紹介)



私は農林水産省出身で、現在は中央競馬会にいるので、今日はお米と馬の話をしようと思います。

最近では米の価格高騰が大きな問題となっていますが、1942年から1993年までの食糧管理法では、米の価格は生産者米価によって決められ、

国が米を全量買い上げることで農家の所得を確保していました。

政府は戦後の食料難に対して増産政策を打ちましたが、1970年代に米が余るようになりました。在庫処理に3兆円もの国費がかかることへの批判が高まり、自主流通米制度や生産調整を実施し、予約限度数量を設定して、政府米の増大を抑制してきました。

ところが1993年、GATTウルグアイラウンド合意によって米の輸入量が割り当てられ、食糧管理法を廃止して食糧法を制定しました。生産者の政府への売り渡し義務は廃止しましたが、国に登録した業者だけが流通に携われる計画流通制度を導入したのです。

1999年には食料・農業・農村基本法を制定し、価格は市場で決め、農家の経営安定は政策で講じることを宣言しました。しかしその後、豊作が続いて価格が下落し、計画外流通米が増えました。そこで米政策大綱を策定して生産調整は数量管理に移行し、米の流通を原則自由にしました。また食糧法を改正して、生産者と消費者の間に入るのは出荷事業者と販売事業者のみとし、届け出さえすれば誰でも農家から米を買えるようにしました。このような抜本改正の結果、流通ルートが多様化し、米の扱いを農家の一存で決められるようになりました。

それを前提に「令和の米騒動」についてお話ししますと、食糧法の改正で米を自由に売買できるようになった一方、主食用米の需要量は年間10万tずつ減少しています。

2024年はコロナ禍による外食・観光の落ち込みが回復し、インバウンドが過去最高を記録して米の需要回復の兆しが見えたのですが、8月8日の南海トラフ地震臨時情報で食料備蓄の動きが強まりました。新米が出る前の端境期で販売業者や卸売業者が在庫量を抑えていた中、多くの方が地震への危機感から米を買いに走り、一部店舗の棚から米が消える状況が報道されたため、全国的に米不足の傾向が高まったのです。

農林水産省がこのとき対応しなかったのは、2024年産米の作付面積や生育状況から例年並みの数量は確保できると予想していたためです。

価格については物価高騰を受けて値上げもやむなしと考えていましたが、夏の米不足と早期出荷を求める声を受けて相対価格が上昇しました。併せて、それ以上の価格を提示した即金買取業者に売る生産者が増えた上、今まで米を買ったことがないようなバイヤーも買い取りに走ったので、高値になりました。

農家はこうしたときに自家保有米を増やす傾向があり、JA・全農の集荷量は昨年より21万tも減少しました。それを受けて今年2月、政府備蓄米の売り渡しが発表されました。焼け石に水という声もありますが、10月以降の売り上げは昨年より落ちており、米は十分にあるという状況です。農水省が米の流通を管理しろ、もっと増産しろという声もあるのですが、それよりも余剰米が発生したときの処理が大きな課題です。価格を下げるために大規模化してコストを下げれば良いといっても、すぐにできるようなことではないのです。

競馬の話に移りたいと思います。近代競馬はイギリス発祥で、日本の競馬は江戸時代に始まりました。1954年(昭和29年)に日本中央競馬会(JRA)が発足し、GHQの指摘で国営化した時代もありました。安田記念、有馬記念は、JRAの初代・2代理事長の名前を冠したレースです。

JRAの売り上げは約3兆円ありますが、75%は払戻金、15%は運営資金に回り、残りのほとんどは国庫に納付して公益のために使われています。

日本の競馬は世界のトップクラスです。馬の生産から競争までのプロセスが確立され、売り上げを生産にフィードバックする形ができています。これからも事業運営の安定化と経営基盤の強化、競馬を通じた社会貢献をしていきたいと考えています。

### 東京麹町ロータリークラブ

設立	1968年6月17日	〒102-0093
例会日	月曜日 12:30	千代田区平河町 1-3-8
例会場	ホテル・ニューオータニ	平河町プラザ 204号
		TEL:03-3263-9220
会長	荒川 和幸	FAX:03-3263-9122
幹事	守屋 幸作	e-mail office@koujimachi-rc.jp
公共イメージ 向上委員長	保科 充弘	URL: www.koujimachi-rc.jp